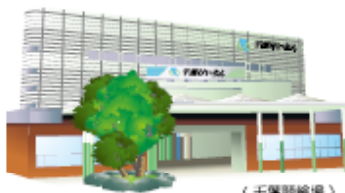




- 松戸
- 上本郷
- 松戸新田
- みのり台
- 八柱
- 常盤平
- 五香
- 元山
- くぬぎ山
- 北初富
- 新鎌ヶ谷
- 初富
- 鎌ヶ谷大仏
- 二和向台
- 三咲
- 滝不動
- 高根公園
- 高根木戸
- 北習志野
- 習志野
- 栗園台
- 前原
- 新津田沼
- 京成津田沼
- 京成幕張本郷
- 京成幕張
- 検見川
- 京成稲毛
- みどり台
- 西登戸
- 新千葉
- 京成千葉
- 千葉中央

かつて鉄道第一連隊の演習場として使われていたこの地に、昭和34年4月1日に千葉公園として開設されました。園内には野球場をはじめ、プール、競輪場などのスポーツ施設が併設されているほか、春は「桜」夏は「大賀蓮(おおがはす)」秋は「マユウ」ウミズミシの紅葉と四季折々の姿を覚えてくれます。中でも夏の一大会「通(おおがはす)」は千葉県の天然記念物に指定されています。



(千葉競輪場)

千葉公園

内には千葉縣招魂社として創建したのが始まりです。幕末の嘉永6年(1853年)より1世紀以上にわたり、戊辰の役・西南の役・日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦などにおいて、尊い命を捧げたみたまを「護國」の神としてお祀りしているお社として、現在に至っています。



▲護國神社

護國神社

正式名称は「千葉縣護國神社」とよばれるこの神社は、明治天皇の恩召を以て明治11年(1878)11月27日に創建に殉ぜられた人々のみたまを慰めるため、当時の千葉県庁公園

登渡神社

通称「登戸神社」と呼ばれるこの神社は、正保元年(1644年)9月5日、千葉家の遺族、登戸権介平定親が先祖を供養するため千葉妙見寺(現在の千葉神社の末寺(白鷺山真光院)通称

登戸妙見寺)として妙見大菩薩を奉養し、僧定井に守護させたのがその始まりと伝えられています。慶応3年(1867年)12月26日、御社等を登渡神社と改め御祭神を天御中主神以下道化三神に定め、西千葉の総鎮守として現在に至っています。



(登渡神社 入口)



▲登渡神社



エコでつながる
駅と街・人と
新京成電鉄

新千葉駅～千葉公園

約1.5km

▲登渡神社 (徒歩約10分)
▲護國神社 (徒歩約15分)

※道路横断の際車には十分お気を付け下さい。